

## 研究名：放射線診療従事者の不均等被ばく、とくに水晶体の管理に関する実態調査

### 1. 研究の目的

放射線業務における職種別、業務内容別に水晶体等価線量と実効線量の測定・管理の実態調査を実施し、不均等被ばく管理の重要性を明らかにします。

### 2. 研究の方法

#### ①研究対象：

平成26年4月1日から平成29年3月31日に当センターに在籍し、ガラスバッジを着用して、個人被ばく管理していた放射線診療従事者（医師、看護師、放射線技師等）

#### ②研究期間：倫理審査委員会承認後～2019年 3月31日

#### ③研究方法：

九州大学大学院（責任者：藤淵俊王）では、不均等被ばく管理している複数の大規模施設（主に研究班員の施設）から倫理審査を通じた上で、過去3年分の水晶体等価線量および実効線量のデータ、および職種や業務内容を被ばく線量記録より収集し、紐づけて集計、分析します。職種として、診療放射線技師だけでなく医師や看護師等の医療スタッフを含めます。水晶体等価線量と実効線量を比較することで、均等被ばく管理しか実施していない施設が、水晶体被ばく管理をどの程度過大評価もしくは過小評価となるかを把握でき、不均等被ばく管理の重要性を説明する資料を作成します。

当センターは、上記の研究対象者のデータ・情報を匿名化し、パスワードをかけて九州大学大学院（責任者：藤淵俊王）に提供します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

2014年4月1日～2017年3月31日の3年間について、研究対象者の職種、所属、従事者の業務場所、実効線量（mSv）、水晶体等価線量（mSv）、皮膚等価線量（mSv）、等

※ 本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

### 4. 試料・情報の公表

論文等の発表をもって公表とする

### 5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター  
九州大学大学院  
東京医療保健大学  
総合病院 国保旭中央病院  
広島大学病院  
国立病院機構東京病院  
国立病院機構病院関連施設

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2018年4月30日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 放射線診療部 黒崎 栄治  
住所：東京都世田谷区大蔵 2-10-1  
電話：03-3416-0181（内 7356）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター 放射線診療部 黒崎 栄治

○研究代表者

九州大学大学院 藤淵 俊王